

# 土砂災害警戒区域等警戒避難体制の基準

平成27年4月28日現在

特別警戒区域内(レッドゾーン)		気象情報及び土砂災害警戒判定メッシュ情報	警戒区域内(イエローゾーン)	
町民の行動	大島町の対応		大島町の対応	町民の行動
気象情報や防災行政無線放送に注意	注意喚起の放送	・大雨注意報 ・大雨注意報の土壌雨量指数基準超過 <span style="color:yellow">■</span>	注意喚起の放送	気象情報や防災行政無線放送に注意
要支援者など、避難に時間のかかる方で、避難を希望する方は、避難を開始。それ以外の方は、避難準備	避難準備情報の発表 要支援者への支援開始	・大雨警報(土砂災害) ・大雨警報の土壌雨量指数基準を超過 <span style="color:red">■</span>		
避難を開始	避難勧告の発令	・土砂災害警戒情報 ・予想で土砂災害警戒基準を超過 <span style="color:purple">■</span>	避難準備情報の発表 要支援者への支援開始	要支援者など、避難に時間のかかる方で、避難を希望する方は、避難を開始 それ以外の方は、避難準備
避難が完了していない方は、直ちに避難  危険が差し迫っている場合、生命を守る行動を取る	避難指示の発令	・土砂災害警戒情報 ・実況で土砂災害警戒基準を超過 <span style="color:blue">■</span>	避難勧告の発令	避難を開始
		伊豆大島における土砂災害と雨量の関係に知見に基づく雨量が予想されるまたは実況で達した場合	避難指示の発令	避難が完了していない方は、直ちに避難。危険が差し迫っている場合、生命を守る行動を取る。

### 土砂災害警戒判定メッシュ情報

メッシュ情報の見方

- 実況で土砂災害警戒基準を超過
- 予想で土砂災害警戒基準を超過
- 大雨警報の土壌雨量指数基準を超過
- 大雨注意報の土壌雨量指数基準を超過
- 大雨注意報の土壌雨量指数基準未滿

## 避難勧告等を判断する防災気象情報の種類

- 【大雨注意報】  
防災体制の設定、避難準備情報の発令の判断材料とします。
- 【大雨警報(土砂災害)】  
避難準備情報等の発令の判断材料とします。
- 【土砂災害警戒情報】  
避難勧告及び避難指示の発令の判断材料とします。
- 【記録的短時間大雨情報】  
避難勧告及び避難指示の発令の判断材料とします。
- 【大雨特別警報】  
避難勧告・避難指示の対象地域の再検討の材料とします。
- 【土砂災害警戒判定メッシュ情報】  
避難準備情報、避難勧告及び避難指示の発令の判断材料とします。
- 【東京都が提供する土砂災害危険度を詳しく示した情報】  
避難勧告等の発令の材料とします。

## 避難行動の考え方

- 【避難準備情報】  
災害の発生する可能性が高まった状況であり、避難行動要支援者の方は避難を開始します。また、一般の方は、家族との連絡や非常用持出品の用意など避難の準備を開始します。
  - 【避難勧告】  
災害の発生する可能性が明らかに高まった状況であり、一般の方々は、計画された避難所へ避難を開始します。
  - 【避難指示】  
前兆現象の発生や災害の発生する危険性が非常に高い状況であり、避難中の方々は確実に避難行動を完了してください。
- ※生命を守る行動：土砂災害においては、基本的に早めの立ち退き避難を行う必要がありますが、外にでるのが危険な場合などは、十分な耐力を有する鉄筋コンクリート造等の建物の上階への屋内安全確保(垂直避難または待避)の対応をとってください。

## 基準の留意事項

- 気象庁が発表する気象情報は、大島町全域が対象となります。町が行う**避難勧告などの発令は、土砂災害警戒判定メッシュ情報を基に、どの地域に危険性があるか確認して、判断します。**土砂災害警戒情報などが発表されても、大島町全域に避難勧告などが発令されるわけではありません。
- 台風の接近で暴風、雨の状況等で避難が難しいときは、基準より早く避難行動を行う場合があります。また、気象警報が発表されても実況で降水量が少ない場合は避難勧告などが発令されない場合があります。
- **地区によっては、避難所が数箇所ありますが、避難の勧告・発令の際には対象地域と避難所を防災行政無線放送、Twitter、テレビのデータ放送等で周知します。**

## 避難準備と避難の心得

- 避難所、経路、自宅や周辺の危険個所の確認をおきましょう。
- 避難するときは防災行政無線放送の内容や消防団員の指示などにしたがって避難行動をしてください。
- 隣近所で声を掛け合い、高齢者などの安全に配慮してください。
- 逃げ遅れた場合、崖崩れや沢の氾濫が発生しているときに外へ出ると危険な場合もありますので、近所の頑丈な建物の2階など安全な場所へ避難するなど身の安全を守る行動をとってください。
- 崖崩れなどの前兆現象には、地鳴り、山鳴り、石のぶつかる音、落石、地面のひび割れ、盛り上がり、水の濁り、斜面からの噴出しなどがあります。現象があった場合は、直ちに避難してください(前兆がない場合もあります)。
- 警戒区域以外でも、崖、沢などが近くにある場合は、日頃より前兆現象などに注意し、身を守る行動を確認しておきましょう。

## 備蓄・非常時持ち出し品リスト

- いざというときに支障がないように、食品類の賞味期限や持出用品の不備を定期的に点検しましょう。また、自宅だけではなく、職場などにも準備し、いつ起こるかわからない災害に備えることも大切です。
- 各避難所にはアルファ化米、カップラーメン、水、安眠マット、毛布などは用意していますが、各ご家庭でいざという時に何が必要か話し合っておき、必要な持ち出し品を整理しておきましょう。

<input type="checkbox"/>	貴重品	現金(小銭も)・貯金通帳・印鑑・身分証明書・権利書 など
<input type="checkbox"/>	食料	簡易食料(乾パンなど)・缶詰・レトルト食品・アレルギー対応食品 など
<input type="checkbox"/>	飲料水	ペットボトル入り飲料水 など
<input type="checkbox"/>	食器用具	皿・コップ(紙、プラスチック)・割り箸・スプーン など
<input type="checkbox"/>	日用品	ポリ袋・ライター・ヘルメット(防災頭巾)・笛・ブザー・万能ナイフ・缶切り・包装用ラップ・水筒・カイロ・ティッシュ・ウエットティッシュ など
<input type="checkbox"/>	照明・情報	懐中電灯(予備電池も含む)・携帯電話・充電器・携帯ラジオ(予備電池も含む)・メモ帳・筆記用具・家族、親族、知人連絡先一覧 など
<input type="checkbox"/>	応急医薬品	救急セット・常備薬・持病薬・三角巾 など
<input type="checkbox"/>	衣類・タオル	下着・靴下・軍手・雨具・運動靴・タオル など
<input type="checkbox"/>	その他	粉ミルク・ほ乳瓶・離乳食・紙おむつ(乳幼児、高齢者用)・おしりふき・生理用品 など